

# ととひびら

## CONTENTS

特集 清真学園医学プログラム	2・3
議決結果・討論・意見書	4・5
令和5年度決算	6～8
常任委員会の活動	9・10
ここが知りたい！一般質問	11～15
きかせて！あなたの夢	16



## —地域の医師不足にメスを— 清真学園医学プログラム



# 清真学園 医学プログラム 地域の医師不足にメスを

清真学園では、地域医療を支える人材を育成するため、医学プログラムという独自の取り組みを行っています。深刻化する鹿行地域の医師不足解消のカギを握る取り組みとなるため、医療従事者を目指す清真学園の生徒に取材を行いました。

取材を受けていただいた生徒は、福田さん（高校2年生）、越川さん（中学3年生）、鈴木さん（中学3年生）です。

## —医学プログラムの主な取組内容—

### ①実践的な学習

医学部受験講座、面接指導、学習合宿などを行う。

### ②研修や見学

旭中央病院や医療系大学の見学などに参加する。

### ③医療系ゼミ

医療系に関心の高い生徒が集まり、生徒自身でテーマを決定し、課題に取り組む。（高校生から行える活動）

### ④医学セミナー

医療従事者の方を招いて講演会を開催し、地域医療を支えるための学びを得る。

医療ゼミを選んだ理由や医学セミナーを受講している理由は何ですか。

福田さん

最初から医療ゼミを選ぼうと思っていたわけではありませんでした。いろいろなゼミ活動を見学している中で、教育・医療ゼミの先生が将来の進路選択に関して、私とは違う視点で説明されていたので、この先生のもとで学びたいと思いい、教育・医療ゼミを選びました。

越川さん

小さいころからテレビドラマの「ドクターX」が大好きで、その影響で医師を目指していることから、医学セミナーを受講しています。ただ、今は、医療に従事されている講演者の方々や先生からの助言もあり、様々な職業を学ぶことで将来の可能性を広げたいと思っています。

鈴木さん

私も「ドクターX」を見て医師を目指そうと思っていたことから、医学セミナーを受講しています。清真学園では、

セミナーを通して、多くの医療関係の先生から話をうかがえるため、学ぶことが多いです。

医学セミナーを受けていて良かった点を教えてください。

福田さん

医療従事者である先生方の話を聞けるところが魅力です。職業によって患者さんへの考え方や視点が変わってくるため、とても参考になります。

越川さん

医師がどのように患者さんに接しているかを学ぶことができました。医師は怪我を直すだけでなく、「患者の希望を尊重し、一緒に悩みながら最善の道を考えている」ということを、あるクリニックの先生から聞いた際には、医師は素晴らしい仕事だと再認識できました。

鈴木さん

セミナーの中で生まれた疑問や、以前から疑問に思っていたことを、その場ですぐ質問できるところです。



将来はどの分野の医師になりたいか決まっていますか。

福田さん

私は医師ではなく、看護師になりたいです。人の役に立ちたいという思いが強くなるため、患者さんを傍で支えられる看護師が、自分にとって一番合う職業ではないかと思っています。

越川さん

医療について学べば学ぶほど、どの分野も素晴らしいと感じるため、まだ決まっています。また、医療関係以外の職業にも目を向けることで、自分の視野を広げているところです。

鈴木さん

麻酔科医になりたいです。予防接種の際に全く痛みを感じず、すごく安心した経験があります。私も自分の技術で人



を助けて安心させることができるような医師になりたいと思っています。

鹿嶋市について思っていることがあれば教えてください。

福田さん

地域の方との関わり合いが希薄化していると感じています。自分たちよりも下の年代でもそのような感じることがあるということなので気になっています。

越川さん

公共交通機関（バス）の便数が増えると嬉しいです。バスの経路が分からないし、便数も少ないので、出かけるときは家族の車を頼ってしまい、公共交通機関を利用することのハードルが高いと感じます。もっと利用しやすいと身近に感じることができるようになると思います。

鈴木さん

ミスドはじめいろいろな飲食店のチェーン店や遊べる場所が増えると嬉しいなと思います。

取材を終えて

議員

清真学園の医学プログラムが、地域医療を支える人材育成に繋がっていることを今回の取材を通して強く感じました。これからも目標に向かって頑張ってください。

## 清真学園独自の取り組み

清真学園では「医学プログラム」以外にも「探究プログラム」「教職プログラム」「国際プログラム」という独自の取り組みをしており、文部科学省からSSH校として指定を受けています。

### 探究プログラム

ゼミ活動を通して、各自がテーマを決め、自発的に取り組む。

### 教職プログラム

地域の学校と連携し、実習などを行うことで、教員を目指すための必要な素養を身につける。

### 国際プログラム

「国際理解講演会」の実施、英語ディベートや英語プレゼンテーションなど4技能を刺激する授業・英検対策講座・海外研修などの実施。

※SSHとは・・・先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進すること。

# 令和6年度鹿嶋市一般会計補正予算などについて審議

9月  
定例会

8月30日～9月26日の28日間、令和6年第3回定例会が開催され、市長から提出された16件の議案や議会へ提出された1件の請願、委員会から提出された1件の意見書を審査しました。議決結果は次のとおりです。

市長から提出された議案 16 件			
番号	議案名	概要	結果
議案第49号	令和6年度鹿嶋市一般会計補正予算(第3号)	3億2,494万2千円を追加(総額246億8万4千円)	原案可決
議案第50号	令和6年度鹿嶋市介護保険特別会計補正予算(第1号)	8,613万6千円を追加(総額49億5,546万3千円)	原案可決
議案第51号	令和6年度鹿嶋市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出・・・610万6千円を減額(総額17億8,869万7千円) 資本的収入・・・5,500万円を追加(総額10億2,268万1千円) 資本的支出・・・5,500万円を追加(総額16億4,986万3千円)	原案可決
議案第52号	令和6年度鹿嶋市下水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出・・・837万9千円を追加(総額15億6,089万2千円) 資本的支出・・・647万7千円を減額(総額12億4,786万4千円)	原案可決
議案第53号	鹿嶋市手数料徴収条例及び鹿嶋市印鑑条例の一部を改正する条例	令和6年9月30日をもって庁舎内に設置している自動交付機による証明書交付サービスを終了するため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第54号	鹿嶋市国民健康保険条例の一部を改正する条例	被保険者証の返還に応じない者に対する過料の規定を削除するため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第55号	鹿嶋市教育委員会教育長の任命について	鹿嶋市教育委員会教育長の任命に当たり、議会の同意を求めるもの。 任期は、令和6年10月1日から3年間。 川村 等(再任)	原案同意
議案第56号 議案第57号	鹿嶋市教育委員会委員の任命について	鹿嶋市教育委員会委員の任命に当たり、議会の同意を求めるもの。 任期は、令和6年10月1日から4年間。 原 キミ(再任) / 大崎 千帆(再任)	原案同意
議案第58号	茨城租税債権管理機構規約の変更について	令和6年度より森林環境税を市町村が賦課徴収することとなったことから、茨城租税債権管理機構の共同処理する事務に森林環境税の滞納処分等を加えるため、規約の変更について議会の議決を求めるもの。	原案可決
報告第4号	専決処分について(令和6年度鹿嶋市一般会計補正予算(第2号))	3,070万6千円を追加(総額242億7,514万2千円)	原案承認
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員候補者の推薦について、議会の意見を求めるもの。 大槻 啓子(新任)	原案適任
認定第1号	令和5年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	令和5年度の鹿嶋市一般会計及び特別会計、鹿嶋市水道事業会計、鹿嶋市下水道事業会計並びに鹿嶋市農業集落排水事業会計の決算について、認定を求めるもの。	原案認定
認定第2号	令和5年度鹿嶋市水道事業会計決算認定について		原案認定
認定第3号	令和5年度鹿嶋市下水道事業会計決算認定について		原案認定
認定第4号	令和5年度鹿嶋市農業集落排水事業会計決算認定について		原案認定
議会に提出された請願 1 件			
令和6年 請願第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	学校現場での、ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など、教職員定数改善が不可欠であるため、国及び関係省庁へ意見書を提出するよう請願するもの。	採択
委員会から提出された意見書 1 件			
意見書第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書	地方自治法第99条の規定に基づき、国会及び関係省庁へ意見書を提出するもの。詳細は5ページへ!	原案可決

# 議員賛否一覧表

賛否が分かれた議案と議員(会派)の賛否結果	未来かしま							公明かしま		日本共産党	幹会			有志の会					
	根崎彰	池田芳範	小池みよ子	栗林京子	笹沼康弘	内野敬仁	中園薫	樋口龍章	山口哲秀	横山揚久	立原弘一	宇田一男	菅谷毅	舛井明宏	田口茂	河津亨	佐藤信成	齊藤裕樹	加勢誠
議案第54号 鹿嶋市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号 鹿嶋市教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成 = ○、反対 = ×、棄権 = △、欠席 = -

※内田政文議長は、採決に加わりません。

## 討論

議案第54号 鹿嶋市国民健康保険条例の一部を改正する条例

### 反対 立原弘一議員

本議案は健康保険証廃止を受けての条例改正のため、反対である。健康保険証廃止の問題は、これまで一般質問などで何度も取り上げてきたが、このことがどれほど深刻な影響をもたらすかを改めて考えるべきである。市の医療を後退させないためにも、行政は市民としっかり向き合い、どうすれば適切な医療体制を維持できるか真剣に考える必要がある。市民が不利益を被らないよう、万全の対応をお願いしたい。

## 議会用語解説コーナー



### 討論とは・・・

採決の前に、議員が、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。

## 国に意見書を提出しました！

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書

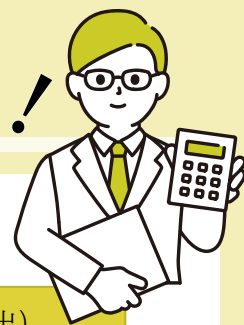
### 意見書概要

学校現場では、解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっているため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠となっている。

こうした観点から、国会及び政府は、地方教育行政の実情を十分に認識し、地方自治体が計画的に教育行政をすすめることができるように、左記の措置を講じられるよう強く要請する。

- 1 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる学級編制標準の引き下げ等少人数学級について検討すること。
- 2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など、教職員定数改善を推進すること。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財源を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

# 令和5年度の決算を認定しました！



## 令和5年度決算の内容は？

令和5年度会計別決算		歳入（収入）	歳出（支出）
一般会計		257億4,585万3千円	249億8,851万2千円
特別会計			
国民健康保険		67億5,432万1千円	66億2,476万6千円
後期高齢者医療		9億3,577万1千円	9億3,392万8千円
介護保険		50億330万7千円	48億5,715万3千円
平井東部土地区画整理事業		2億3,561万3千円	2億3,010万9千円
墓地		1,591万9千円	539万7千円
公共料金等集合支払		2億6,071万8千円	2億6,071万8千円
公営企業会計			
水道事業	収益的収支	20億2,448万9千円	16億5,071万4千円
	資本的収支	23億7,129万2千円	28億2,255万9千円
下水道事業	収益的収支	14億8,032万2千円	13億5,657万1千円
	資本的収支	5億9,796万6千円	9億3,814万7千円
農業集落排水事業	収益的収支	1億3,031万9千円	1億1,749万2千円
	資本的収支	2,100万円	3,080万8千円

### 令和5年度決算の特徴

一般会計は、歳入歳出差引額は7億5,734万1千円となっているが、実質単年度収支は△6億5,611万7千円となっている。特別会計も含め厳しい財政状況ではあるが、令和5年度は10事業の廃止及び5事業の縮小を行っており、効率的な行政運営を図るよう努めている。

### 決算の審査について

予算決算常任委員会において総務生活・文教厚生・都市経済の3つの分科会に分かれることで、詳細な決算審査を行いました。さらに各分科会で事業を抽出し、決算評価を行いました。

詳細は  
7-8ページ  
を確認！



# 決算 評価

予算決算常任委員会では、議会の意見が来年度予算に反映されるよう3つの分科会で8つの事業を抽出し、決算評価をしました！



## 【決算評価】

A…十分評価できる    B…やや評価できる    C…あまり評価できない    D…全く評価できない

## 総務生活分科会



### 企画調整事務経費（決算額：1,010万9千円）

評価 **B**

#### 事業概要

国・県・関係市町村と連携を図り、広域行政の推進に努める。

#### 評価理由

スマートで持続可能なまちをつくるに当たり、各種協議会に対し負担金を出し広域行政を推進することは必要かつ有効である。しかし、鹿行広域事務組合負担金に関しては、令和7年度以降、鹿嶋市としてかかわる事業が主に職員共同研修のみとなる。今後、新しい事業が具体化していないことを考えると、組合決算額の人件費等の金額の高さと負担金割合の根拠において不公平感を感じる。

### 公共交通対策事業（決算額：8,104万5千円）

評価 **B**

#### 事業概要

広域公共交通体系の確立に向けた、地域公共交通活性化協議会の運営のほか、コミュニティバスや広域路線バス等の運行支援及びデマンド型乗合いタクシーの運行委託を行う。

#### 評価理由

人口減少社会において民間事業者のみでは公共交通体系の維持が困難となっている中で、公共交通対策事業として行う各種事業は有効性があるが、デマンド型乗合いタクシーと鹿嶋コミュニティバスの効率性を比較すると、利用人数の比較においてデマンド型乗合いタクシーの費用対効果が低くなっている。また、鹿嶋コミュニティバスの事業者にとっての採算面で見ると、やりくりが厳しいと聞いた。持続可能な公共交通体系を構築していくためにも、協力事業者の安定した収益性確保も重要といえる。

### 庁舎管理経費（決算額：8,884万3千円）

評価 **A**

#### 事業概要

庁舎の適正な維持・管理を図るとともに、来庁者の利用しやすい環境の整備に努める。

#### 評価理由

庁舎の適正な維持管理と来庁者の利用しやすい環境の整備については行政が行う必要があるが、事業の目的は妥当である。各種業務委託や光熱水費、消耗品の購入等についても、近年の電力高騰や物価上昇の中、効果的に行われている。第1庁舎は築年数が50年を超えているが、耐震補強がされ、防水補修工事等のメンテナンスもされており、適切に管理されている。



庁舎の調査を行う総務生活分科会

# 文教厚生分科会



## 自立支援給付事業（決算額：15億5,768万5千円）

評価 **A**

### 事業概要

障がい児・障がい者が地域で自立した生活を送るために、障がいの特性に応じ、切れ目のない支援を行う。

### 評価理由

法に基づくさまざまな給付事業を行っており、給付費の適正給付と併せ、障害福祉サービス等の質の向上や本人の意向に沿った適切なサービス提供体制の確保に向けた取組も行っている。また、市直営で行っている総合福祉センター（心身障害者福祉センター）では、就労継続支援B型、障害児デイサービス、障害児相談支援を実施しており、一人ひとりの特性に配慮した支援を行っている。

## 学校給食センター経費（決算額：5億6,754万5千円）

評価 **A**

### 事業概要

栄養バランスに配慮し、衛生的で安全な食事を提供するとともに、日常における食事について正しい理解を深めることができるよう、食育の推進に努める。

### 評価理由

設備費や賄材料費などが十分に検討され、執行されている。学校給食については、改善の余地はあるが、予算の範囲内で最大限の努力がなされ、栄養や量の基準を満たしている。



# 都市経済分科会

## 海水浴場管理運営事業（決算額：1,865万5千円）

評価 **B**

### 事業概要

下津及び平井海岸において、夏の海水浴シーズンに合わせ、安全・安心に楽しむことができる海水浴場を開設し、海水浴客の増加を図る事業。

### 評価理由

観光庁のブルーツーリズム補助金を活用し、下津海岸にシャワーを設置するなど利便性向上を図っている。ドローンを購入し海水浴客の安全管理強化に利用する工夫もされ、海水浴場開設期間の安全管理はしっかりと図られているが、総合戦略に掲げる既存産業のチャレンジを応援するという観点では、まだ予算を生かし切れていない点もある。

## 広域観光対策事業（決算額：659万5千円）

評価 **B**

### 事業概要

地域おこし協力隊の新しい目線での活動や近隣市との連携事業等により、新たな観光ブランドの創出や交流人口の増加を図る。

### 評価理由

予算の大半が地域おこし協力隊に関するものであり、グルメガイドの作成や日帰りバスツアーなどの協力隊によるさまざまな取組みや頑張りは評価できるが、協力隊の活動は市内PRが主であり、広域観光という点では更なる発信や他市との連携が必要である。また、文化面や歴史面で更なる鹿行広域でのPRも必要である。

## 雨水排水整備事業（決算額：6,996万円）

評価 **A**

### 事業概要

市内道路の市道の排水整備を実施することで道路冠水や浸水被害を低減・解消し、市民生活の向上などを図ることを目的としている。また、昨今の台風や局所的な大雨等の発生を鑑みると、被害の未然防止対策にもつながっている。

### 評価理由

市民要望をもとに大雨時に道路冠水及び浸水被害が発生している箇所の冠水対策として、排水整備工事を行い、被害の解消を図っている。丁寧に現場確認を行い、緊急性も考慮して、浸水被害軽減のための対応がされている。



# 予算決算常任委員会



## 一般会計等の補正予算4件、報告1件を審査

9月10日に開催した予算決算常任委員会では、補正予算4件、報告1件について審査しました。

### 主な質疑

■議案第49号 令和6年度鹿嶋市一般会計補正予算（第3号）

### 問

救急医療対策経費における医師確保支援補助金を補正予算で対応するに至った経緯は。

### 答

令和5年度までの医師確保支援事業については3名分を計上していたが、令和6年度は、うち1名分を新規事業の看護師修学資金貸付事業に振り分けたところ、別の医療機関から医師の退職に伴い新たに医師を採用したとの申し出があったため予算に不足が生じることになった。

### 問

学務事務経費における学校規模適正化基準策定委員会の開催予定や内容は。

### 答

同委員会は今年度で2回を予定しているが、状況によっては追加の会議も開催していく。少子化の影響で複式学級が複数発生している学校があることや小規模特認校制度をとる学校で利用者がなかったこと、また保護者からも教育上の不安の声があったことから基準を策定することとした。

採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決・承認すべきであると決定しました。

### ※小規模特認校制度

特色ある教育活動や少人数によるきめ細かな指導を行っている少人数の学校に、他の通学区域からの通学を許可する制度

# 総務生活委員会



## 茨城租税債権管理機構規約の変更についてを審査

総務生活委員会では、1件の議案を審査しました。

### 主な質疑

■議案58号 茨城租税債権管理機構規約の変更について

### 問

森林環境譲与税の額と使われ方は。

### 答

森林環境譲与税は、令和6年度の歳入で約1088万円を計上している。

鹿嶋市での使われ方は、森林整備として、保安林の保全管理、歩道や道路にせり出た森林の枝払い、市の所管する森林の除草等のほか、木材利用として、地域子育て支援センターの日よけの整備、中央図書館の屋外ベンチの整備、総合窓口課のおくやみコーナーの整備を予定している。

### 問

茨城租税債権管理機構へ移管する滞納額はどのくらいになるのか。また、森林環境税の滞納額は市が立

替えをするのか。

### 答

令和5年度の実績は、移管件数が21件、滞納額は約2270万円、うち約1410万円が徴収され、徴収率は約62%である。また、森林環境税が滞納となった場合、その滞納額を同機構へ移管することになり、森林環境税の滞納額について、市は立替えをしない。

### 問

森林環境税が課税される対象者は。

### 答

主に個人住民税均等割の納税義務者が対象。鹿嶋市の令和5年度の対象者は約3万4000人であり、税額は約3400万円になる。

採決の結果、本案について全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。



## 鹿嶋市手数料徴収条例及び鹿嶋市印鑑条例の一部を改正する条例等を審査

文教厚生委員会では、2件の議案と1件の請願を審査しました。

### 主な質疑と意見

■議案第53号 鹿嶋市手数料徴収条例及び鹿嶋市印鑑条例の一部を改正する条例  
(改正内容)

①鹿嶋市手数料徴収条例  
市民カードの再交付の手数料の規定について、「鹿嶋市民カード」を「印鑑登録証」と改める。

②鹿嶋市印鑑条例  
自動交付機による証明書交付サービスの終了に伴い、該当する規定を削除する。

**問** 手元にある市民カードは交換となるのか。

**答** カードは交換せず、今後は印鑑登録証明書の発行などで窓口に来所された際に「印鑑登録証」と記載された特殊なシールを市民カードへ貼ることで、その後もご利用いただく予定となっている。

**問** 自動交付機のサービスを終了する理由を伺う。

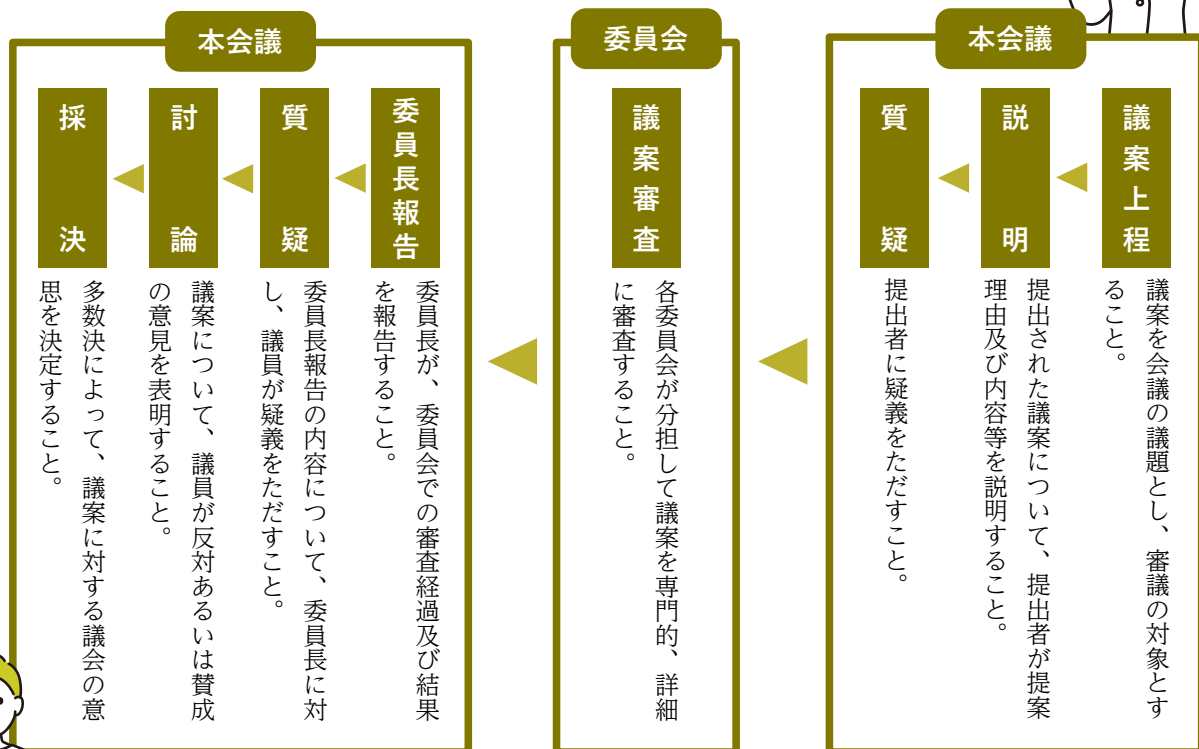
**答** 平成21年度から、本市で使われてきた機種が生産が終了し、後継機も生産されていないことから、今年度で終了とすることとした。

**問** 自動交付機のサービスが終了することについての周知は、どのように行うのか。

**答** これまで案内掲示のほか、令和5年1月号、令和6年6月号の広報かしま、市ホームページなどで順次周知を行ってきた。また、自動交付機の操作画面にもポップ表示することで実際に利用される方に対しても周知を行ってきた。

採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。また、令和6年請願第2号については全会一致で採択すべきであると決定しました。

## 議案審議の流れ



／ここが知りたい！／



# 一般質問

8人の  
議員が  
登壇！

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、あるいは報告、説明を求めたりするものです。

質問者	質問項目	ページ	質問者	質問項目	ページ
中  蕨  薫	・市役所駐車場の有料化について ・公園利用の促進について	12	立原 弘一	・マイナ保険証について ・タクシーチケットの復活について	14
斉藤 裕樹	・新型コロナワクチンについて	12	田  口  茂	・市長の目指す農業ビジョンについて	14
横山 揚久	・コミュニティバスの利用状況と料金体制について ・高齢者等の移動手段確保について	13	山口 哲秀	・マイナ保険証の普及と利用促進について ・HPV ワクチン接種について	15
舩井 明宏	・ラーケーションの活用について	13	内野 敬仁	・学校の適正な配置（統廃合）について	15

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「一般質問通告一覧」をご利用ください。

## 本市議会の音声公開や YouTube 配信を行っています！



### 【一般質問の YouTube 配信】

一般質問の様子を YouTube で録画配信しています。



### 【本会議の音声公開】

本会議の音声データを会議録検索システムに議事録が掲載されるまでの間、公開しています。



### 【会議録検索システム】

鹿嶋市議会のホームページ内にある会議録検索システムで、各会議の議事録をご覧いただけます。





なかその 中園 かおる 議員

**市役所駐車場の有料化について**

**問** 市役所駐車場の有料化について、市の考えを伺う。

**答 総務部長** 市役所に用事のない方だけを有料とした場合であっても平日は有料化により駐車場外で渋滞が発生し、市役所の利便性を低下させてしまうおそれがあることから、閉庁日のみを有料化とした場合で検討を行った。有料化の手法として、駐車場出入口に自動開閉ゲートなどを設置する方法と徴収員を配置する2パターンで検討したが、自動開閉ゲートの導入経費や維持経費、有料化による駐車台数の減少の可能性を考慮すると、導入に見合う利益や効果を得ることは難しいのではないかと考えている。これらのことから、慎重に検討すべきものと

考えている。

**公園利用の促進について**

**問** 城山公園でのお花見イベント再開に向けた観光協会との連携や、市としての支援策を検討しているか。

**答 経済振興部長** 城山公園への進入路が狭いため、歩行者の安全性を確保する必要があることから、桜まつりを中止とした令和2年度以降は公園が混雑する花見のシーズンに限定し、車両の乗り入れを禁止としている。そのため、高齢者や障がいをお持ちの方、小さなお子さん連れの方など、公園まで上がる際にご迷惑をおかけしている。まずは、この課題を整理し、市民の皆さんが安全に花見を楽しめる環境を整えていく。また、桜まつりのようなイベントを再開するのかがどうかについては、観光協会などと協議し、判断していく。その上で桜まつりを再開するという判断に至った場合には、金銭的支援や人的支援などについて検討していく。

**新型コロナウイルスについて**



さいとう ひろき 齊藤 裕樹 議員

**問** 全国で新型コロナウイルスの被害が多く発生している。厚生労働省発表のコロナワクチン接種後の死亡者数、副反応報告数、健康被害申請数について最新の状況を伺う。

**答 健康福祉部長** 本年8月30日現在の国における予防接種健康被害救済制度の認定状況は、総進達受理件数は1万1863件となり、そのうち死亡または埋葬料に係る進達受理件数は1485件、うち認定件数は777件、否認件数329件、保留3件、未審議376件となる。予防接種法に基づく医療機関からの副反応疑い報告は、ワクチン接種の推定接種回数は5億1174万9324回、副反応疑い報告数は3万7817

件、このうち重篤報告は9266件(0.0018%)で死亡報告は1729件(0.0003%)となる。

**問** 新型コロナウイルス接種による本市の死亡者数、そして予防接種健康被害救済制度による副反応の申請数の状況について伺う。

**答 健康福祉部長** 令和5年10月までに8人の方から予防接種健康被害救済制度の申請があった。認定が5件、内訳は医療費及び医療手当該当が4件、死亡一時金・埋葬料該当が1件、否認が3件となる。

**問** 秋から始まる定期接種事業ではワクチンのリスクや被害状況の情報提供を行ったうえで、市民が接種の可否を判断できるように求めたいと考えているが、市の考えを伺う。

**答 健康福祉部長** 対象者宛ての通知書に期待される効果やよく見られる副反応を記載し、情報提供に努めている。また、通知の方法としては、十分な情報を提供する意味でも個別通知が必要と

コミュニティバスの利用状況と料金体制について

**問** 利便性を考慮した路線や便数の変更について市の考えを伺う。

**答** **政策企画部長** 車両数や運転手数といった制約があるが、利用者ニーズに添えていくため、拠点間を結ぶピストン路線や拠点内での循環路線などの路線見直しやダイヤ改正に合わせて検討していきたい。

**問** 料金体制を1日自由券のようないかなりにすることはできないか。

**答** **政策企画部長** 大野区域と鹿島区域を結ぶピストン路線や鹿島区域における市街地循環路線といった交通結節点での乗換えが前提となるような見直しになった場合には、1日乗車券も検討する必要があるものと考えている。

高齢者等の移動手段確保について

**問** 足腰が弱い方や障がいを持つ方に対する移動手段の確保として、市として具体的に取組んでいることについて伺う。

**答** **健康福祉部長** 障害者手帳を所持する重度障がい者または児童のうち、自動車税や軽自動車税の減免を受けていない方々に対しては、社会参加等に要するタクシーの利用料金を乗車一回につき900円を上限に1年間で24回分（1月換算で2回分）助成している。また、1人で移動することが困難な方に対しては、ヘルパー等が同行し移動の支援を行っている。なお、高齢者については、要支援1及び2の方、または基本チェックリストで生活機能の低下が見られた方に対しては、公民館等で実施しているサロンやお口の健康教育などへの移送を事業の一環として実施しているが、それ以外の移送は実施していない。

【こんな質問もありました】

・デマンドタクシーの利用状況と今後の運用について

※ラーケーションの活用について

**問** ラーケーションを活用した観光などの取組についての市の考えは。

**答** **経済振興部長** 本市は多くの観光客が訪れるが、市内消費に繋がらない状況がある。これにいかに向き合っていくかが、観光における大きな課題となっているが、本市には学びの部分で題材となる資源が多くあるため、これらを活用することで、来訪者が増加すると考えている。また、ラーケーションで訪れる方は、学ぶという明確な目的を持っていて、ため、一般観光客に比べ滞在時間が長くなると考えられ、食事や宿泊といった市内消費にもつながる。このようにラーケーションを活用した観光振興は、本市の観光

資源との親和性があるだけでなく、市内消費の拡大も見込め、非常に効果的と考える。

**問** 地域経済を活性化するための取組の一つとして、ラーケーションを鹿嶋市ならではの体験型のふるさと納税の商品としてどうか。

**答** **経済振興部長** ふるさと納税の寄附額の増につながるだけでなく、家族そろって来訪されることを踏まえると有効な手段と考える。ラーケーションに活用できそうな体験型の返礼品については、早速、寄附募集ページを見直し、SNSなどで親子の学びに活用していただきたい旨の情報発信を行う。新たなふるさと納税の体験型返礼品を考案する際には、ラーケーションを意識しながら進めるとともに、本市の自然や歴史、産業、スポーツなど、学びの場としての魅力を積極的にPRし、寄附額の増、そして観光振興につなげていきたい。

※ラーケーション

平日に児童生徒が家の人などと一緒に思いや悩み、不安について家族と一緒に考える時間を取ること。



よこやま やすひさ  
横山 揚久 議員



ますい あきひろ  
舂井 明宏 議員



たちはら ひろいち  
立原 弘一 議員

マイナ保険証について

**問** 一部の民間企業では強制的に健康保険証を回収して、マイナ保険証に統合していると聞いた。市としては、被保険者にマイナ保険証への移行を強制するようなことはないか。

**答** 健康福祉部長 マイナナンバーカードは本人の申請により交付され、さらに本人がマイナナンバーカードを健康保険証として利用することを希望された場合に利用登録をさせていただくことで、マイナ保険証として使えるようになる。このことから、市がマイナ保険証の利用を強要するようなことはない。

**問** 発行済みの健康保険証の有効期限がいつまでになるのか、周知が行われているのか伺う。

**答** 健康福祉部長 有効期限の無い社会保険等では健康保険証の廃止日から最長で1年間、鹿嶋市の国民健康保険や後期高齢者医療制度では最長で令和7年7月31日まで利用することができ。被保険者の皆さんが混乱することのないよう、さら周知に努めていく。

タクシーチケットの復活について

**問** タクシーチケットの復活を望む声が多く聞こえるが、市の考えを伺う。

**答** 政策企画部長 デマンド型乗合タクシーは、最初の利用登録が必要だが、年齢や運転免許証の有無を問わず、全ての市民の方が利用可能であり、利用回数の制限がないことから、市としてはタクシーチケットではなく、デマンド型乗合タクシー事業の利便性の向上を図りながら、今後も継続していきたいと考えている。

【こんな質問もありました】  
・救急車の有料化問題について



たぐち しげる  
田口 茂 議員

市長の目指す農業ビジョンについて

**問** 農業政策を推し進めるためには、農地中間管理機構の活用や農産物6次産業化を含めた農業公社の新たな取り組み、そして、今年度策定予定の農業経営基盤の強化の促進に関する計画に基づいた農地の集約化などが重要と考えるが、市長の目指す農業ビジョンはどのようなものか伺う。

**答** 市長 農業は国民の生活を守るものとして重要なものであり、食の安全と安定供給を確保していくためには、しっかりとした政策の下、各種施策を行っていく必要がある。本市については、主に3つの事業に力を入れていく。まず、1点目が、農地の貸し借りを推進することにより、担い手となる大規模農家

への農地の集積と集約を図ること、2点目が、国や県の事業を活用して経営規模の拡大を図る意欲的な農業者や新規就農者への支援を行うこと、3点目は、主に水田農家の支援を行っている農業公社や農業生産基盤の整備や維持管理に努めていただいている各土地改良区に対する支援を行っていることである。今後、水田においては農地の集積、集約化を推進しながら、大規模な農家の育成が必要である。これを担う新規就農者を確保するためには、経営基盤が安定した農業への転換が求められる。そのため、収益性の高い新しい農業経営を図ろうとする農業者に対しては支援も検討している。また、議員ご指摘の市内で収穫された作物を市内で商品化する、いわゆる農作物の6次産業化については、市経済の発展や、雇用確保などを推進していくうえで効果的な手段であると考えている。そのため、意欲的な事業者を支援するとともに農業公社の新たな活用方法の一つとして検討を進めていきたい。

## マイナ保険証の普及と 利用促進について

**問** マイナ保険証へ円滑に移行するために、正しい情報発信を行うべきだと考えるが、市の取り組みについて伺う。

**答** **健康福祉部長** 7月に現行の健康保険証の更新としては最後となる一斉更新を行った際に、健康保険証の廃止やマイナ保険証の利用について、案内を同封している。また、窓口でのリーフレットの配付や市のホームページへの掲載など、さまざまな方法で正確で分かりやすい情報の発信に努めている。

**問** 取得しなくてもできない方が、高齢者施設や高齢者世帯などに多いが、取得支援状況について伺う。



山口 哲秀 議員

**答** **健康福祉部長** 本市では令和5年度に、市内の障がい者入所施設に総合窓口課の職員が出向き、出張申請受付を行った。

今後は県が主体となって取得支援事業を実施するが、市としても、必要に応じて支援を行っていく。また、高齢者世帯で、窓口での受け取りが難しい方からご相談があった場合には、状況の聞き取り等を行いながら個別に対応していきたい。

## HPVワクチン接種について

**問** HPVワクチンを接種する機会を逃してしまった16歳から27歳の女性を対象に、無料で接種を受けられるキャッチアップ接種を厚生労働省が実施しているが、来年3月末に終了する。接種についての情報提供が必要であると考えますが、市の考えを伺う。

**答** **健康福祉部長** 対象者へ毎年度初めに個別通知を行うとともに、広報かしまや市ホームページ、エフエムかしまなどを活用して情報提供を行ってきたが、今年度で終了となるため、8月29日に再度個別通知を行った。

## 学校の適正な配置（統廃合） について

**問** 市全体として、児童の数が減少しているが、学校ごとの児童数のギャップや複式学級の発生を市としてはどのように捉えているのか。また、どのような対策を講じていくのか。市の考えを伺う。

**答** **教育長** これまで、小規模校のメリットであるきめ細やかな教育を活かしつつデメリットを削減するために、ICT教育を活用した授業や小中一貫教育を中学校区単位で推進するなど、教育環境を整えることに努めてきた。しかし、今後、少子化の進行に伴い児童数が更に減少し、本来の教育目標の達成が困難な状況になることが予想されること、保護者からも教育上の不安



内野 敬仁 議員

の声が上がったことなどから、鹿嶋市学校規模適正化基準検討委員会を設置し、市独自の基準策定を行い、基準に合致した学校の統合等について検討を進める必要があると判断した。

**問** 学校の統廃合は、児童生徒や保護者、地域住民と教育上の課題を共有し、理解を得ながら進めていくことが必要となる。児童生徒や保護者、地域住民の皆さんから得られた意見は、どのように反映されるのか。

**答** **教育長** 学校規模適正化基準の公表後、学校規模適正化検討委員会（仮称）の開催を想定している。委員には、当該学校の保護者、就学前児童保護者、学校関係者に加えて、地域の代表である行政委員、民生委員、まちづくり委員などからもご意見をお伺いしたいと考えている。ただし、学校規模の適正化の検討は、当事者である児童及びその保護者の意見が優先されるべきであると考えている。

【こんな質問もありました】  
・遊休公共施設の活用等について

一鹿嶋っ子の夢、  
応援していますー  
**きかせて！  
あなたの夢**

**楽しい柔道を続けていきたい！**



豊津小学校6年生  
いまいずみ かつし  
今泉 和士さん

僕の将来の夢は、柔道家になることです。小学4年生の時に友だちの親から勧められたことがきっかけで柔道を始めました。練習を重ねるうちに、柔道の楽しさに夢中になり、今では中学校でも続けて、さらに上手になりたいと思っています。

豊津小学校は人数が少ないですが、その分、学年を超えて友だちと遊べるところが魅力です。6年間一緒に過ごした友だちとの思い出がたくさんあり、卒業するのが寂しい気もしますが、修学旅行や運動会など、これからも楽しい行事が残っています。

とても明るく元気な今泉君、柔道の選手になり、その後は指導者になりたいとお話してくれましたね。君ならできる！応援しています。

(小池委員)  
(加勢委員)



鹿嶋市は遊べる場所が少ないと思います。もっと遊べる場所が増えると家族で出かける時間が増えて嬉しいです。これからも夢に向かって柔道の練習を頑張っていきます。

**議 会 T O P I C S**

**公聴会を開催しました！**



議員定数・報酬・政務活動費調査特別委員会では、【定数・報酬・政務活動費】について議論を行っており、市民の皆さまから参考としてご意見をいただくため、公述人を募集し、公聴会を開催しました。当日は4名の方にご参加いただき、以下のご意見をいただきました。

- ・定数については、減員との意見が4名(内2名は定数を減員して、報酬を増額すべきとの意見)
- ・報酬については、現状維持が2名、増額が2名(定数を減員して、報酬を増額すべきとの意見)
- ・政務活動費については、賛成が1名、反対が2名、どちらでもよいが1名

公聴会でのご意見を参考に、これからも議論を進めてまいります。ご参加ありがとうございました！

次回の定例会は **12月6日(金)** 開会予定です。

12/6 (金)	本会議：開会
10 (火) 11 (水) 12 (木)	本会議：一般質問 ※12日は予備日
13 (金)	本会議：質疑・委員会付託 予算決算常任委員会
16 (月)	予算決算常任委員会
17 (火)	常任委員会
20 (金)	本会議：委員長報告・討論・採決・閉会

※変更の場合があります。詳細はHPでお知らせします。  
2次元コードよりご確認ください。



**編集後記**

舛井 明宏

今号から、紙面一部において字体をゴシック体から明朝体とし、大きさを変更するなど読みやすきの向上を図っています。お気づきになりました方がいらっしやれば幸いです。また、更に読みやすく、市民の皆さんに興味を持って頂ける紙面づくりを目下検討中です。皆様からの声を聴くための方策なども考えてまいりますのでその際にはご協力よろしく願います！



発行：茨城県鹿嶋市議会

発行人：議長 内田政文  
〒314-8655 茨城県鹿嶋市大字平井 1187 番地 1  
電話：0299-82-2911 (代)

編集：鹿嶋市議会広報広聴委員会  
委員長 / 内野敬仁 副委員長 / 舛井明宏  
委員 / 小池みよ子 横山揚久 中園薫 樋口龍章 齊藤裕樹 加勢誠  
次号のとびらは令和7年2月1日発行予定です。